



令和7年8月22日  
財務省 福岡財務支局

## 令和6年の災害復旧事業費の状況について

～ 福岡財務支局管内（福岡県・佐賀県・長崎県）の災害復旧事業費は  
過去10年間でみると、8番目となる約65億円 ～

**【お問合せ先】**

財務省 福岡財務支局 理財部主計課

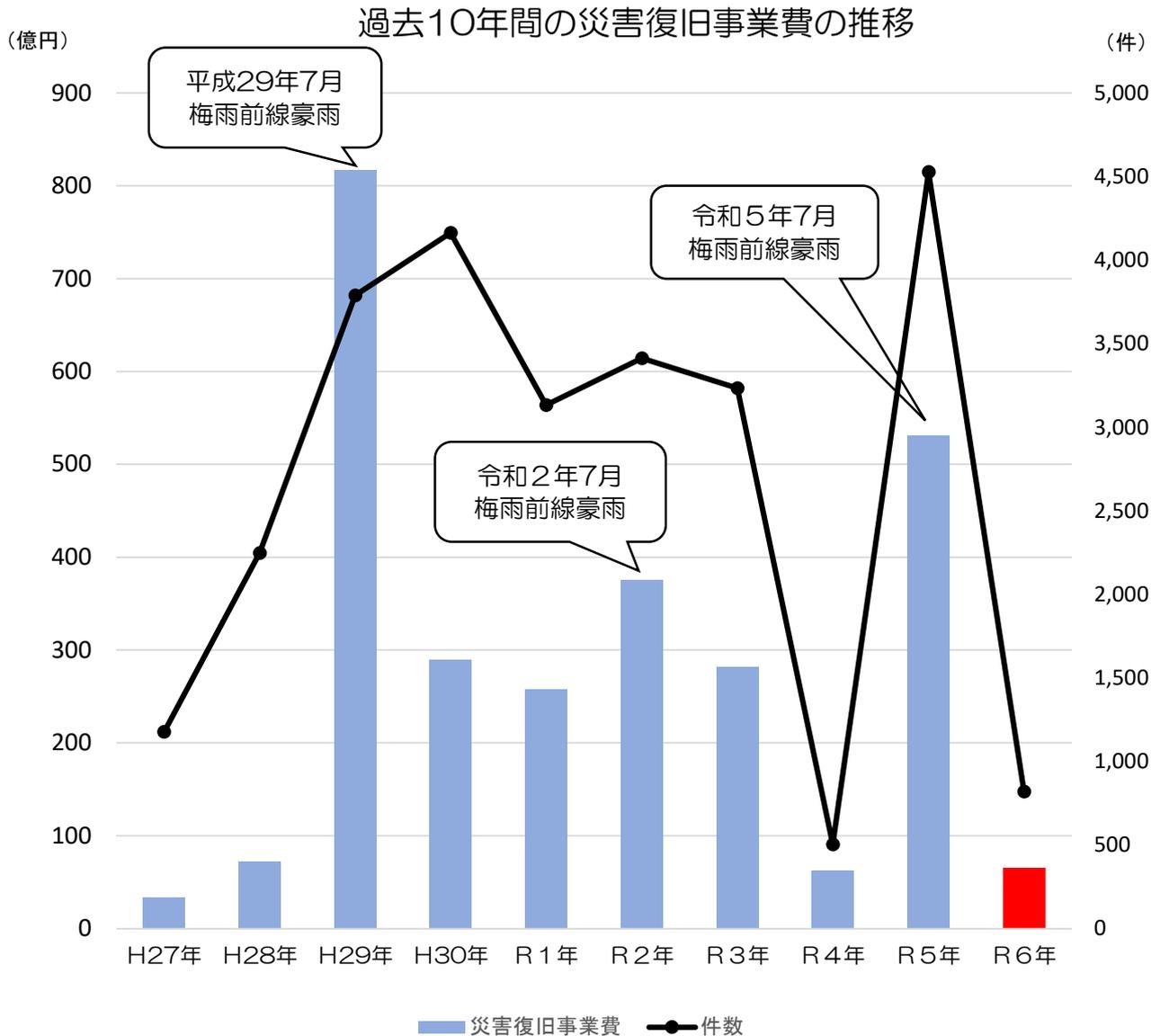
TEL 092-411-5062

【①概要】

令和6年の災害復旧事業費は、約65億円で過去10年間でみると8番目の規模

福岡財務支局管内（福岡県・佐賀県・長崎県）で、令和6年に発生した梅雨前線豪雨、台風等の自然災害により被災した河川、道路、農地、農業用施設等に係る災害復旧事業費の査定立会結果は820件、約65億円となっている。

その中で過去10年間でみると、件数は9番目、金額は8番目の規模となっており、前年（令和5年：4,527件、約531億円）と比較すると、件数は82%減、金額は88%減となっている。



(単位：件、億円)

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
件数	1,177	2,247	3,789	4,163	3,133	3,413	3,234	504	4,527	820
災害復旧事業費	33.97	72.66	817.02	289.75	257.77	375.25	282.04	62.67	531.09	65.90

※ 過年災（R5年以前の災害）についても、R6年度に査定を実施したため、前回公表時から数値が変動している箇所がある。

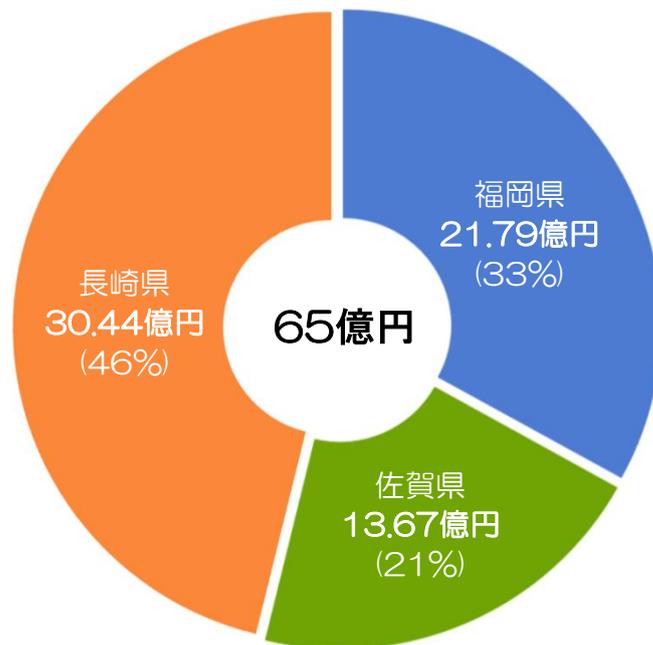
## 【②県別】

長崎県の被害が最も多く、事業費全体の約46%を占める

災害復旧事業費を県別でみると、

長崎県が約30億円（46%）と最も多く、次いで福岡県が約21億円（33%）、佐賀県が約13億円（21%）となっている。

災害復旧事業費の県別構成



(単位：件、億円)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額
福岡県	(1,133) 195.72	(551) 70.97	(139) 22.64	(1,798) 326.01	(134) 21.79
佐賀県	(883) 55.57	(1,742) 117.25	(132) 14.02	(2,323) 184.73	(233) 13.67
長崎県	(1,397) 123.94	(941) 93.81	(233) 26.00	(406) 20.35	(453) 30.44
合計	(3,413) 375.25	(3,234) 282.04	(504) 62.67	(4,527) 531.09	(820) 65.90

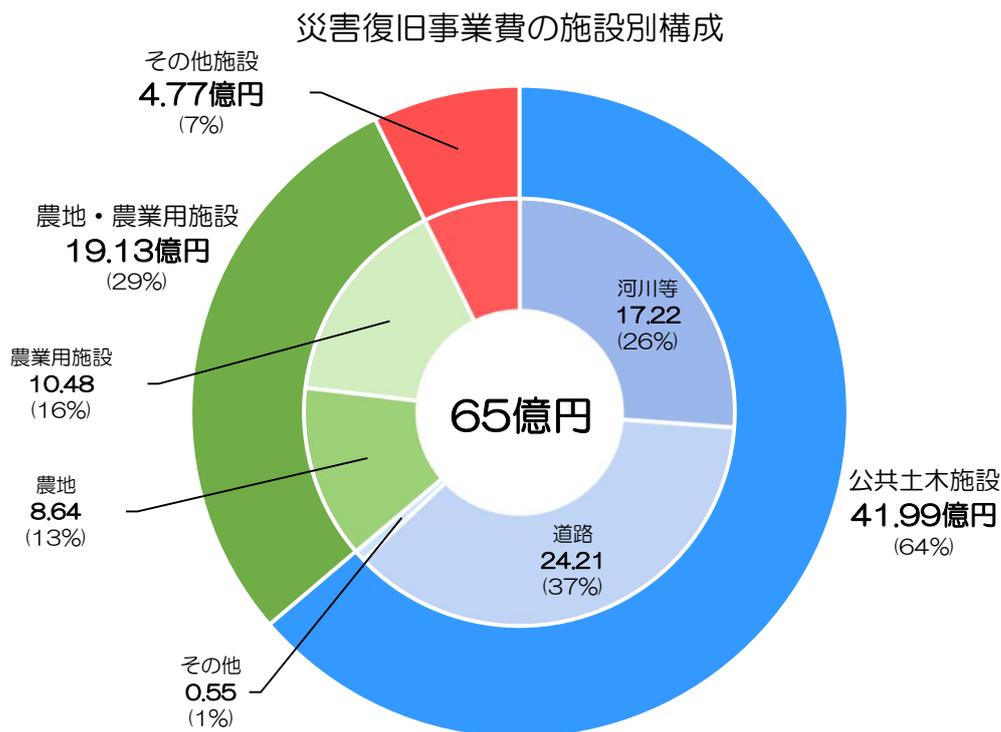
※ 金額は小数点第2位未満切り捨てのため、合計と必ずしも一致しない。

### 【③施設別】

公共土木施設が約41億円で全体の約64%を占める

災害復旧事業費を施設別でみると、

公共土木施設が約41億円（64%）で、農地・農業用施設が約19億円（29%）となっている。公共土木施設では、河川等が約17億円（26%）、道路が約24億円（37%）となっている。農地・農業用施設では、農地が約8億円（13%）、農業用施設が約10億円（16%）となっている。



(単位：件、億円)

区 分	福岡県	佐賀県	長崎県	合計
	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額
公共土木施設	(67) 17.64	(29) 4.03	(111) 20.32	(207) 41.99
河川等	(49) 10.25	(15) 1.68	(31) 5.27	(95) 17.22
道路	(16) 7.06	(13) 2.32	(76) 14.82	(105) 24.21
その他	(2) 0.31	(1) 0.01	(4) 0.22	(7) 0.55
農地・農業用施設	(63) 3.02	(198) 7.78	(339) 8.31	(600) 19.13
農地	(39) 0.92	(104) 2.44	(257) 5.27	(400) 8.64
農業用施設	(24) 2.10	(94) 5.33	(82) 3.03	(200) 10.48
その他施設	(4) 1.11	(6) 1.85	(3) 1.80	(13) 4.77
合計	(134) 21.79	(233) 13.67	(453) 30.44	(820) 65.90

※ 「河川等」には、河川のほか、海岸、砂防設備を含む。

※ 金額は小数点第2位未満切り捨てのため、合計と必ずしも一致しない。

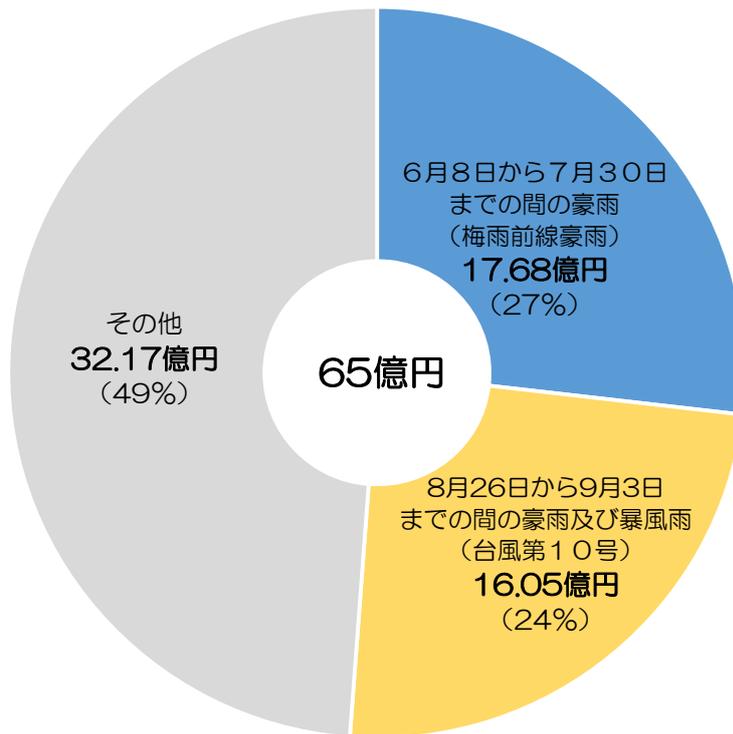
【④被災原因別】

6月8日から7月30日までの間の豪雨(梅雨前線豪雨)によるものが約17億円で全体の約27%を占める

災害復旧事業費を被災原因別でみると、

6月8日から7月30日までの間の豪雨(梅雨前線豪雨)によるものが約17億円(27%)、8月26日から9月3日までの間の豪雨及び暴風雨(台風第10号)によるものが約16億円(24%)となっている。

災害復旧事業費の被災原因別構成



(単位：件、億円)

区 分	福岡県	佐賀県	長崎県	合計
	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額
令和6年6月8日から7月30日までの間の豪雨(梅雨前線豪雨)	(51) 6.79	(90) 4.30	(134) 6.57	(275) 17.68
令和6年8月26日から9月3日までの間の豪雨及び暴風雨(台風第10号)	(59) 10.92	(46) 2.26	(101) 2.86	(206) 16.05
その他	(24) 4.07	(97) 7.10	(218) 20.99	(339) 32.17
合計	(134) 21.79	(233) 13.67	(453) 30.44	(820) 65.90

※ 金額は小数点第2位未満切り捨てのため、合計と必ずしも一致しない。